

難易度
中級

知財ライセンス契約実務演習講座

～IoT 時代に対応する知的財産契約ドラフティングのテクニック～

平成30年2月8日(木) 10:00～17:00
講師 岡本 清秀 氏

 神戸大学 客員教授 学術・産業イノベーション創造本部
 岡本IPマネジメント 代表、前大阪工業大学大学院教授、
 元日本ライセンス協会会長、元オムロン(株)知的財産部長


◆IoT 社会に入り異業種間の提携が増え、ビッグデータや AI をビジネスに活用するための戦略的契約の締結が必要となっています。他社との事業提携や技術導入、共同開発、実施許諾、製品売買等を行うにあたり、自社事業の収益を高めるため、契約交渉・締結を如何に行うかは、企業の規模を問わず重要な課題となります。

◆知的財産ライセンス契約書のドラフティングは、法的側面のみならず、事業・技術・知財の企業戦略に基づいて行わねばなりません。

◆近年、契約締結前の約束を無効にして契約書の定めを全てとする完全合意条項を設けるケースが増えているほか、顧客と秘密保持契約を締結しただけで新技術の無償実施権を顧客に取られてしまうケースも生じており、慎重に契約を締結しないと大きな事業損失になりかねません。

◆本講座では、長年にわたり企業で国内外の多くのライセンス実務に携わってこられ、大学院でも講義をされ、現在も多岐にわたり活躍の講師をお迎えし、最新の知財事情、事業成功のためのライセンスマネジメント、ライセンスに関する法規制、契約交渉方法、戦略的な知的財産契約書の作成方法等について、実務経験者のみならず、契約の初心者の方にも分かりやすく、事例を交えての解説を行います。

また、実施許諾契約書の作成演習や、参加者提案による契約の課題についてのフリーディスカッションを実施することで、その理解を深めます。知財のマネージャー、契約書の作成を担当される方々にお勧めします。

<講義内容>

- IoT時代に対応するライセンスマネジメント
- 契約関連法規制と知的財産契約の種類
- 契約ドラフティングの留意点
- ライセンス交渉の留意点
- 契約書作成演習
- フリーディスカッション

◇弁理士の皆様へ この研修は、日本弁理士会の継続研修として申請中です。本講座を受講し、所定の申請をすると、外部機関研修として5.5単位が認められる予定です。

◇本講座は、企業、特許事務所、大学で、特許出願実務や契約実務に携わる経験年数2～5年の方々にお勧めします。

◆日時 平成30年2月8日(木) 10:00～17:00

◆会場 発明会館7階 研修ルーム

◆定員 50名

◆講師 岡本 清秀 氏 神戸大学 客員教授 学術・産業イノベーション創造本部、岡本IPマネジメント代表、前大阪工業大学大学院教授、元日本ライセンス協会会長、元オムロン(株)知的財産部長

◆受講料 会員16,500円・一般19,000円(※消費税8%込み)

◆申込 FAXもしくは、HPからお申込下さい。(http://www.jiii.or.jp「知財 ist 研修・スポット講座他」)